

| | | | |
|-----|--|-------|-------|
| 科目名 | 科学技術英語 I Engineering English for Scientists I | 科目コード | 31346 |
|-----|--|-------|-------|

| | |
|----------|-------------------------------|
| 学科名・学年 | 電子制御工学科・4年（プログラム1年） |
| 担当教員 | 皆川正寛（電子制御工学科） |
| 単位数・区分 | 履修単位科目・1単位・必履修 |
| 開講時期・時間数 | 後期，30時間【内訳：講義26，演習0，実験0，その他4】 |
| 教科書 | 高橋晴雄 著、工業技術英語の基礎（森北出版） |
| 補助教材 | プリント |
| 参考書 | 英語の授業で購入した文法の副読書、英和辞典 |

【A. 科目の概要と関連性】

英語を使えるようになるために、高専で習った英文法をしっかりと復習する。また、その復習を行いながら、科学技術分野のたびたび出てくる表現や語句を習得する。科目の終盤には、工業技術英語作文の練習も行う。

○関連する科目：英語 I（前年度履修），電子制御ゼミナール（後期履修），卒業研究（次年度履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

| 科目の到達目標 | 評価の重み | 学習・教育到達目標との関連 |
|--------------------------|-------|---------------|
| ①正確な文章の作成法および文法を身につける。 | 30% | (b3), (d4) |
| ②英語文章を読解し、日本語に訳す力を身につける。 | 30% | (b3), (d4) |
| ③日本語文章を英語文に訳す力を身につける。 | 40% | (b3), (d4) |

【C. 履修上の注意】

理解度に加え、平常時の勤勉さを重視します。遅刻や無断欠席は大幅に減点します。これまで高専で学習した英語の知識、単語力が要求されますが、まじめに取り組めば必ず英語力は向上するはずで、授業で習ったことをよく復習し確実に理解するよう努めてください。

※授業中にどんどん指名するので、居眠りは厳禁（大幅減点）です。

※一単元でも課題が未提出の場合は単位認定しないので、課題は確実に提出するように。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 試験（75%）【内訳：後期中間（40），後期末(35)】
- その他の試験・課題（25%）【授業時に適宜実施。再提出の場合、その提出状況も加味する。】

【E. 授業計画・内容】

● 後期

| 週 | 内容 | 備考 |
|----|------------------|----------|
| 1 | 工業技術英語の構文パターン1 | |
| 2 | 工業技術英語の構文パターン2 | |
| 3 | 動詞の基本用法パターン1 | |
| 4 | 動詞の基本用法パターン2 | |
| 5 | 助動詞の構文パターン | |
| 6 | 不定詞の構文パターン | |
| 7 | 後期中間試験 | 授業内に実施予定 |
| 8 | 試験解説と発展授業 | 授業内に実施予定 |
| 9 | 動詞に ing の構文パターン | |
| 10 | 関係代名詞の構文パターン | |
| 11 | 接続詞の構文パターン | |
| 12 | 数量表現と位置関係の構文パターン | |
| 13 | 工業技術英語作文の方法1 | |
| 14 | 工業技術英語作文の方法2 | |
| — | 後期末試験 | 試験時間：60分 |
| 15 | 試験解説と発展授業 | |